

2020(令和2)年度

# 松山大学・カルスポ公開講座

## 「一般教養」

「生涯教育としての経済と文化・スポーツ」

受講案内



松山城

主催

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、松山大学



〒790-0012 愛媛県松山市湊町七丁目5番地  
(松山市総合コミュニティセンター内)  
TEL089-921-8222  
<https://www.cul-spo.or.jp/>



〒790-8578 松山市文京町4番地2  
TEL089-925-7111 (代表)  
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/>

学び舎えひめ 悠々大学

### ■受講されるみなさんへ

#### <教室のご案内>

松山大学樋又キャンパス 2階 H2A教室

\*教室を変更する際は、前回の講義時、あるいは当日掲示にてお知らせします。

なお、当日教室の分からない方は、正門・西門・樋又キャンパスの守衛室へお問い合わせください。

#### <駐車場のご案内>

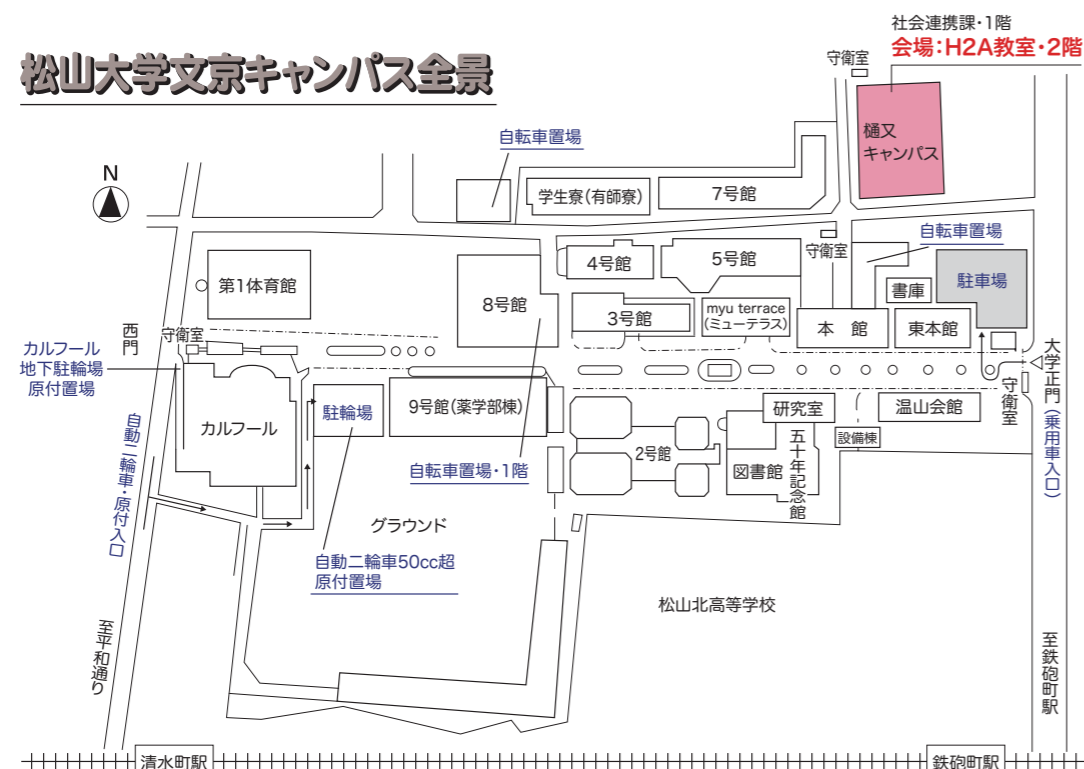
学内の駐車スペースには限りがあります。原則として公共交通機関をご利用ください。遠隔地、時間の関係で公共交通機関が利用できなくなる方、その他特別の事情がある方で、駐車を許可された方以外は学内に駐車できませんのであらかじめご了承ください。自転車・バイクをご利用の方は、所定の場所に駐輪してください。遵守できない方は乗り入れをお断りすることがあります。

\*学内への駐車を希望される方は、第1回講義(10月7日)時に「学内自動車乗り入れ許可申請」を行ってください。許可者には「学内自動車乗り入れ許可証」を交付いたします。

#### <講義開始時間>

講義は午後6時30分から始まります。時間厳守でお願いします。

### 松山大学文京キャンパス全景



伊予鉄市内電車環状線「清水町駅」または「鉄砲町駅」下車徒歩5分

# ご案内

## 「生涯教育としての経済と文化・スポーツ」

松山大学は1923（大正12）年、関東大震災の年に創設された松山高等商業学校が前身です。5学部6学科、大学院6研究科を有し、学生数約6,000人の中規模私立総合大学です。昔も今も大学の重要な役割の一つが人材育成であることは言うまでもありません。しかし近年において大学を取り巻く環境は大きく変わってきました。少子高齢化の進展と生涯教育の広がりです。「人生100年時代」においては、学習が先で仕事は後ではなく、交互に、そして時には同時並行で、取り組むべきものにならざるをえません。「学び直し」は知識と学習のバージョンアップで、適宜必要とされる更新作業です。学びは年代を問わず、充実した人生を送るためには欠かせない取り組みとなりました。

今年度はコロナ禍の中、実施が危ぶまれましたが、関係各位のご尽力により何とか開講の運びとなりました。経済、特に金融関連を中心にカルチャー・スポーツまで、多方面から講師陣をお迎えし、新しい学びの場を提供いたします。皆さまのご参加お待ちしております。

# 要項

開講日	2020(令和2)年10月7日(水)～2020(令和2)年11月25日(水) 全8回
場所	松山大学樋又キャンパス2階 H2A 教室
時間	18:30～20:00
定員	<b>80名（受講希望者多数の場合は抽選とします）</b>
受講料	2,000円(初回講義の際にお持ちください)※2,000円で8回の講座全てを受講できます。
対象者	松山市内に在住又は松山市内に勤務している人で18歳以上の方（学生は除く）
申込方法	はがきに次の事項を記載し、下記までお申し込みください。 ①講座名（「松山大学・カルスポ公開講座：一般教養」とご記入ください） ②氏名（ふりがな） <b>氏名のふりがなは必ずご記入ください。</b> ③性別、生年月日（西暦表記） 職業（a. 公務員 b. 会社員 c. 自営業 d. 主婦 e. アルバイト・パート f. 契約社員（派遣・臨時含む） g. 無職 h. その他） <b>記号のみでも可。</b> ④自宅の郵便番号・住所・電話番号 ⑤勤務先名（ふりがな）・郵便番号・住所・電話番号 （⑤は松山市外在住者のみ記入してください）
申込先	松山大学社会連携課「松山大学・カルスポ公開講座（一般教養）」係 〒790-8578 松山市文京町4-2
申込締切	<b>2020(令和2)年9月16日(水) 正午必着</b>
受講可否のお知らせ	受講申込者数が定員を上回った場合は、抽選となります。締め切り後、受講許可・不許可通知を発送いたします。また、受講を許可された方は、あわせて講座のご案内をお知らせいたします。
修了証	所定の回数以上出席された方には修了証を発行します。
問合せ先	松山大学社会連携課 神岡・村井 TEL (089) 926-8246 E-mail:mu-renkei@matsuyama-u.jp ※受講料に関するお問合せ： 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 TEL (089) 921-8222

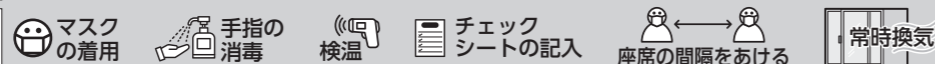
※お申し込みいただいた方の個人情報は、本講座に関する連絡業務および今後の松山大学・カルスポ公開講座のご案内のみに利用させていただきます。

### ◆ 新型コロナウイルス感染症への対応について ◆

開講の有無について

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、緊急事態宣言等により開講に変更が生じた場合には、松山大学ホームページにてお知らせいたします。

開講にあたっての対策について



# プログラム

学び舎えひめ 対象講座

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	10月7日 (水)	松山大学 経済学部 教授 <b>松本 直樹</b>	<b>資産形成と地域活性化 ～マクロ経済と金融からの視点～</b> 30年間にわたってゼロ成長という日本のマクロ経済環境を踏まえ、まずバブル崩壊以降、デフレ経済からの脱却に向けての取り組みについてお話しします。その後は地域活性化のため、地元企業をどう応援し、さらに自らの資産運用・形成にどう結び付ければよいかについて議論していきます。
2	10月14日 (水)	松山大学 経済学部 准教授 <b>蓮井 康平</b>	<b>金融市場と金融政策の波及経路</b> 日本経済は90年代初めにバブル崩壊を経験し、さらに2008年の米国の金融危機による景気後退から、金融政策は難しい舵取りを迫られています。こうした状況では、従来の金融政策の波及経路に加えて、非伝統的な金融政策の効果や、金融市場を通じた金融政策の波及経路に焦点を当てる必要があります。本講義では、近年の金融政策の様々な波及経路について紹介し、景気とどのような関わりがあるのかを説明します。
3	10月21日 (水)	写真家 元東京新聞写真部編集委員 <b>堀内 洋助</b>	<b>写真を生涯の友に ～新聞カメラマン38年間で学んだ報告～</b> 38年間の新聞カメラマンを卒業して昨冬、郷里の松山に戻ってきました。今は写真家として、四国の絶景と野鳥などのネイチャーフォトを撮影しています。在職中、フィルムからデジタル時代になり、写真が普及しました。初心者からベテランまで役立つような、写真作法を講義します。撮る際のちょっとしたコツも、経験の中から話します。スマホで撮るだけの人も、写真を見るだけの人も歓迎。写真を生涯楽しむ一考に。
4	10月28日 (水)	FPオフィス幸せ家族ラボ 代表 <b>内田 英子</b>	<b>愛媛で暮らす。生涯のあなたらしい暮らしを描く生活設計のルール</b> 近年、支出が多様化しています。住宅ローン、保険、投資信託、家具家電。これからの経済社会においてはご自身の家計に照らし合わせた「見極め」と「準備」が、将来の暮らしの選択肢に影響を与えそうです。「暮らし」にお金はかかるもの。でもその暮らし、よその誰かの暮らしで描いていませんか？住宅ローン、老後資金、教育資金等一見身構えてしまうお金の正体を明らかにし、「ご自身の未来の暮らし」を描く為の、生活設計のルールをお話しします。
5	11月4日 (水)	松山大学 経済学部 教授 <b>松浦 一悦</b>	<b>コロナ禍の世界経済の現局面 ～日・EU・米の財政・金融政策の効果と限界～</b> コロナ禍の世界経済の現局面を解説します。1930年代以来の恐慌ともいわれる状況下で、先進諸国は消費の冷え込みと財政収支の悪化に直面しています。その中で、日欧米の財政・金融政策は企業行動や私たちの暮らしにどのような影響をあたえているのか、どのような問題を生み出しているのか、について講義をします。
6	11月11日 (水)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団 健康運動指導士 NSCA-CSCS <b>中田 裕幸</b>	<b>新しい生活様式での脂肪の燃やし方・筋肉のつけ方</b> 2015年に厚労省が発表したリスク要因別死亡者数は運動不足が喫煙、高血圧に次ぐ第3位となっています。そしてコロナにより人々は歩かなくなり、ますます運動不足が深刻な問題となっています。また同じく運動不足が大きな原因の糖尿病は、コロナ重症化のハイリスク因子です。今、私たちには新しい生活様式での運動が必要とされています。今回は家庭でできる脂肪の燃やし方と筋肉のつけ方を、正しいエビデンスに基づいて実技も交えてご紹介したいと思います。（簡単な運動を行います。）
7	11月18日 (水)	松山大学 経済学部 講師 <b>久田 貴紀</b>	<b>現代貨幣理論 (MMT)</b> 現代貨幣理論 (Modern Money Theory 以下、MMT) とは何か、なぜ今日、MMTが注目されているのか。「緊縮財政」こそが、将来にツケを回すとはどういうことなのか。MMTに対するよくある疑問として、「政府が支出し放題なら、ハイパーインフレが起きるのでは？」や「財政に金融的制約がないなら、無税国家ができるのでは？」といったものが挙げられる。本講義ではMMTをできるだけ分かり易く説明する。
8	11月25日 (水)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団 松山市考古館 学芸員 <b>小玉 亜紀子</b>	<b>温故知新 ～発掘・松山の至宝からのメッセージ～</b> 松山市内の埋蔵文化財を調査・研究・公開している松山市立埋蔵文化財センター・松山市考古館は、昨年度に30周年を迎えました。これまでに発掘調査した遺跡は約600ヶ所、旧石器時代～近代に至る松山の歴史の実態を次々と明らかにしています。遺跡出土の土器・石器・金属器・木製品などは、時代に生きていた人々の「それぞれの日々の暮らし」を伝えてくれる貴重な手がかりです。今回、今を生きる私たちに多くのメッセージを残してくれている松山の至宝（考古資料）を紹介します。

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。



2019年度 講義の模様